

職業漫画

人 ひととき 木

— 人と木をつなぐ仕事 —

住宅に家具、紙に炭…日本人は毎日、様々な形で木を利用しています。

木は森林にあって国土を守ってくれているだけではなく、

様々な製品や機能で私たちの生活を支えてくれているのです。

職業漫画「人+木」では、人と木をつなぐ「ひととき」を作る仕事をご紹介します。



このイラストは「人+木」で紹介する仕事が
山から海までを繋げている様子を表しています。

これらの仕事が持続的に発展することが
国土の7割を占める森林を健全な形で維持することに繋がるのです。



林業作業 その1

植付

地植えした林地に新しくカラマツやトドマツ等の苗木を植えます。

従来型の標苗は苗畑で育てます。





林業作業 その2

下刈り

周りの雑草木が苗木の生育を妨げないよう数年間刈り払いを行います。



苗木は通常50cm位のサイズで林地に植付されます。



日光を十分に浴びられるようになった苗木は活発な成長が期待されます。

なので植付後数年間は繁茂する草本に被圧されないよう。



林業作業 その3

除伐・つる切り

植栽木の生育を妨げる雑木やつる植物、成長や形質の悪い木を除去します。

つる植物とは、光を得るために他の植物に取り付く植物の総称です。



植栽木はつる植物に巻きつかれたら覆い被さられると、成長が阻害されてしまいます。



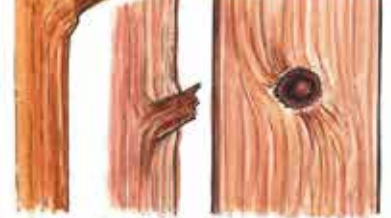
林業作業 その4

枝打ち

節のない上質な木に育てるために、余分な下枝を切り落とします。

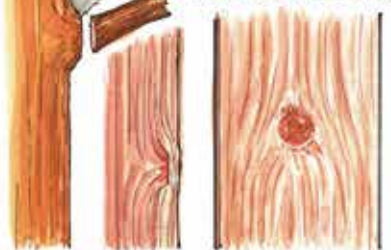
死に節

枯死した枝の付け根は樹皮を巻き込みながら成長するため材と結合していない。節が抜けることも。



生き節

枝打ち後、枝の付け根が生きているうちに幹に取り込まれると節は材と結合する。



枝打ちの方法

細い枝

ここを切る
枝座は残す



枝打ちの意義

- ・無節、死に節のない材の生産
- ・林内の光環境の調節
- ・病害虫の防除
- ・林内の見通しを確保



林業作業 その5

間伐

健全な成長を促すために、混み合った植栽木を間引きします。

間伐は、まず伐る木を選ぶ「選木」を行います。

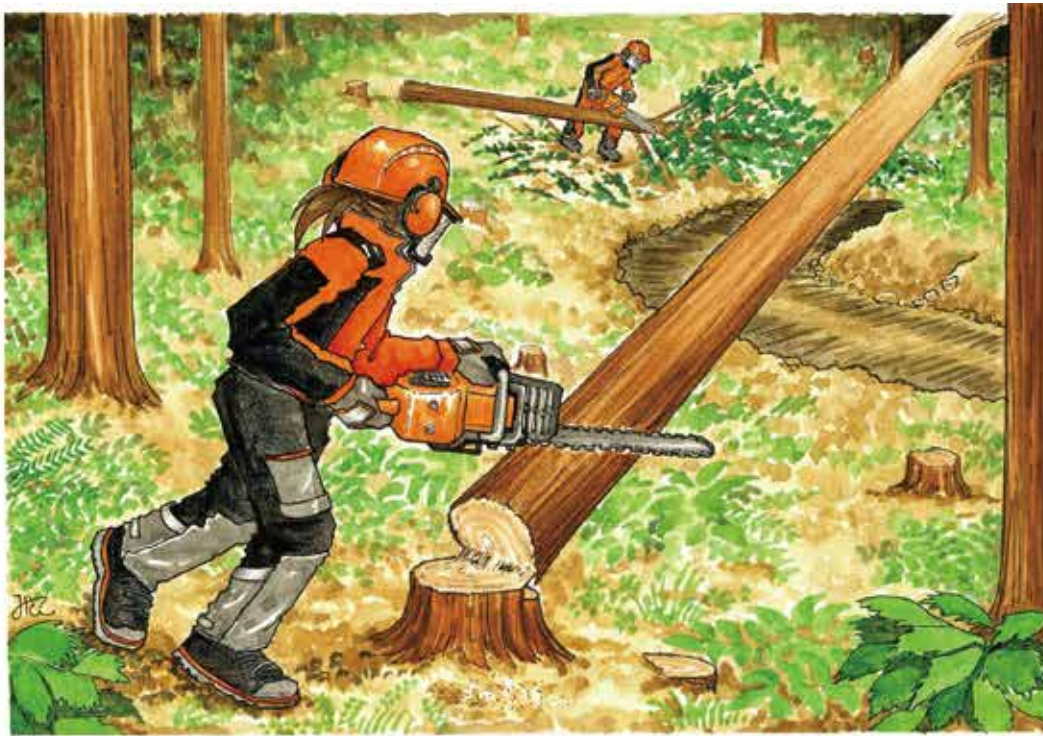
将来どんな森林に
仕上げるか予想
しながら選木します。



適切な間伐は森を健全に保ちます。間伐材を家具や燃料に利用することは、間伐を促進し森林の多面的機能の発揮に貢献します。



適切な間伐をしないと木は互いに成長を阻害しあう上、林床に光が届かず、植生もなくなるので、土壌の流出が起きやすくなります。



林業作業 その6

主伐

木材として利用するために、木を伐採します。

植付から約50年以上育った木は、建築材に利用できるサイズまで成長します。

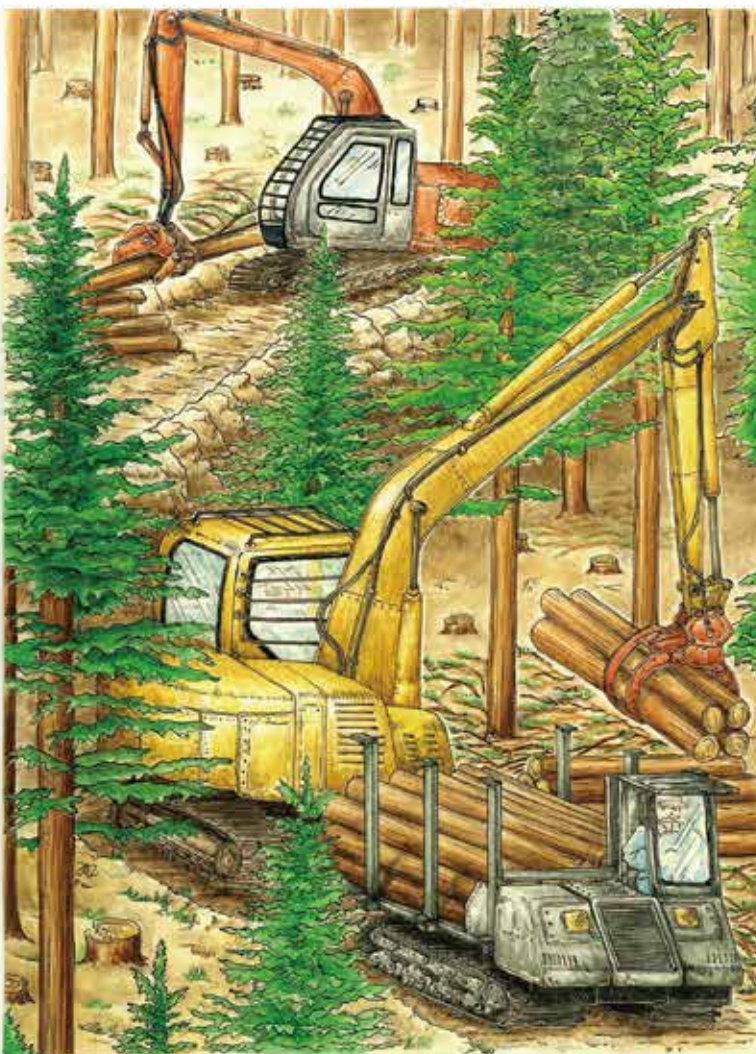
よく大きくなつたなあ



伐倒は倒す方向をよく確認した上で、慎重かつ安全に行います。



近代、主伐はチェーンソーの他高性能林業機械でも行われています。



林業作業 その7

造材・搬出

伐採木の枝をはらい、玉切り、造材して林道端等に運びます。

近年の造材・搬出では、フロセッサによる枝払い、玉切り、タワーヤーダによる架線集材、フォワーダによる搬出等、高性能林業機械の活躍が目立ちます。

高性能林業機械による造材・搬出では作業する道の整備が重要です。



作業する箇所を集約することで効率的に道を作ることができます

コストを抑えまとまった量の材を出すことで、利益の向上を目指します。

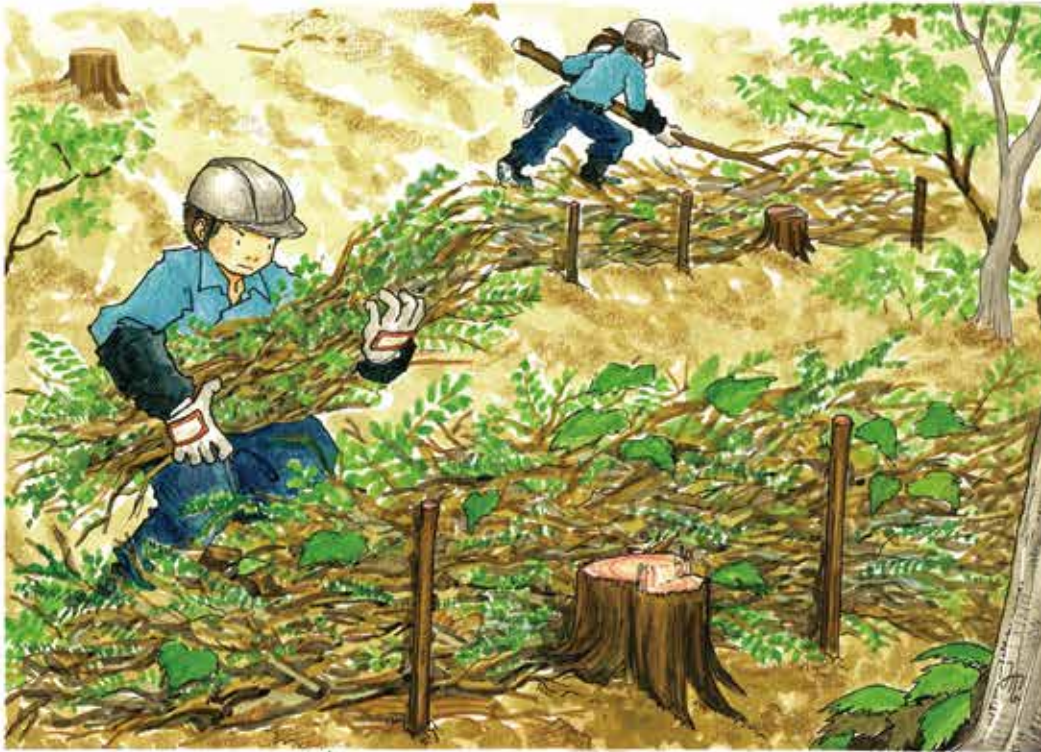
林業作業 その8

地拵え

伐採後植付をするために、散乱した伐採木の枝葉や残木等を取り除き整地します。

一貫作業システム

通常地拵えと植付は、伐採・搬出が終了した翌年以降に行います。近年、伐採・搬出に使用した重機をそのまま利用し地拵えと植付を行う効率的な一貫作業システムが試行されています。



林業の中で最も経費のかかる初期作業の効率化を図ることでコスト削減を目指します。



ひとと木

— 人と木をつなぐ仕事 —

原木市場

山で伐採された原木を売り買いする市場

北海道メモ

原木市場は本州などで主流ですが、北海道では伐採現場にある山土場では積みした丸太を競争入札などで製材業者に販売するのが一般的です。また、品質の良い優良木は旭川市で開催される銘木市売に出品されます。

北海道で一番取引量が多いのはカラマツ、次がトドマツです。他にもエノマツやアカエノマツといった針葉樹、ミズナラやウダイカンバなど様々な広葉樹が取引されています。



ひとと木

ひとと木をつなぐ仕事

製材

原木の特性を見極めて、角材や板材などに加工する

北海道メモ

北海道ではカラマツやトドマツを筆頭に、多種多様な木材が産出され、様々な用途に活用されています。北海道の森林で産出された木材含む原料を、道内で加工した北海道の木材製品は「HOKKAIDO WOOD」の相性でPRされています。

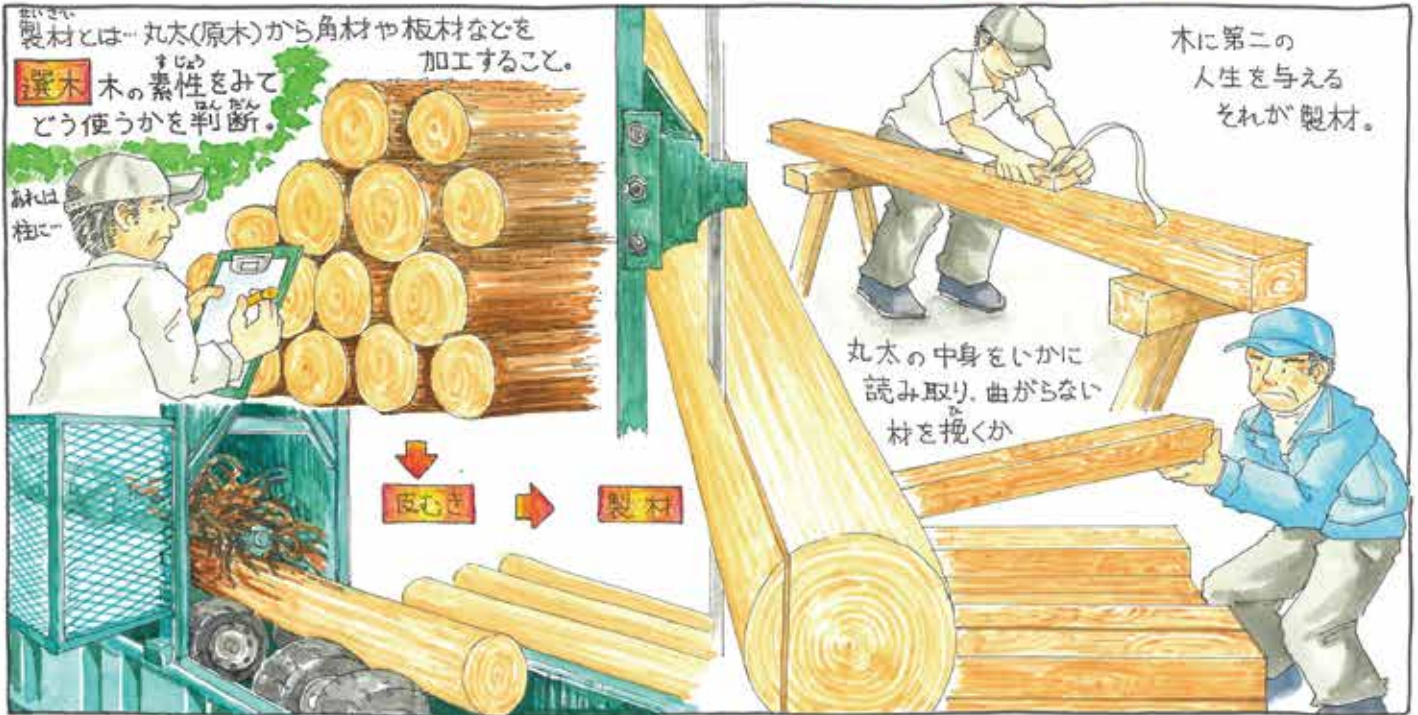


HOKKAIDO WOOD
北海道産木材



←「HOKKAIDO WOOD」のHP

「HOKKAIDO WOOD」のロゴマーク →



ひとと木

ひとと木をつなぐ仕事

CLT

木材の活用を中高層建築まで広げる新工法。

北海道メモ

北海道はカラマツの資源量が日本で一番です。カラマツは木目が美しく、国産針葉樹の中でもトップクラスの強度を誇ります。以前はヤニやねじれが多いとされてきたカラマツですが、製材業者や研究者の努力により、乾燥方法や加工方法が発達し、建築材としての活用が広がっています。また、北海道では2015年3月に全国初のカラマツによるCLT建築物が建設され、2017年2月には道内初のCLTのJAS認定工場が誕生しています。



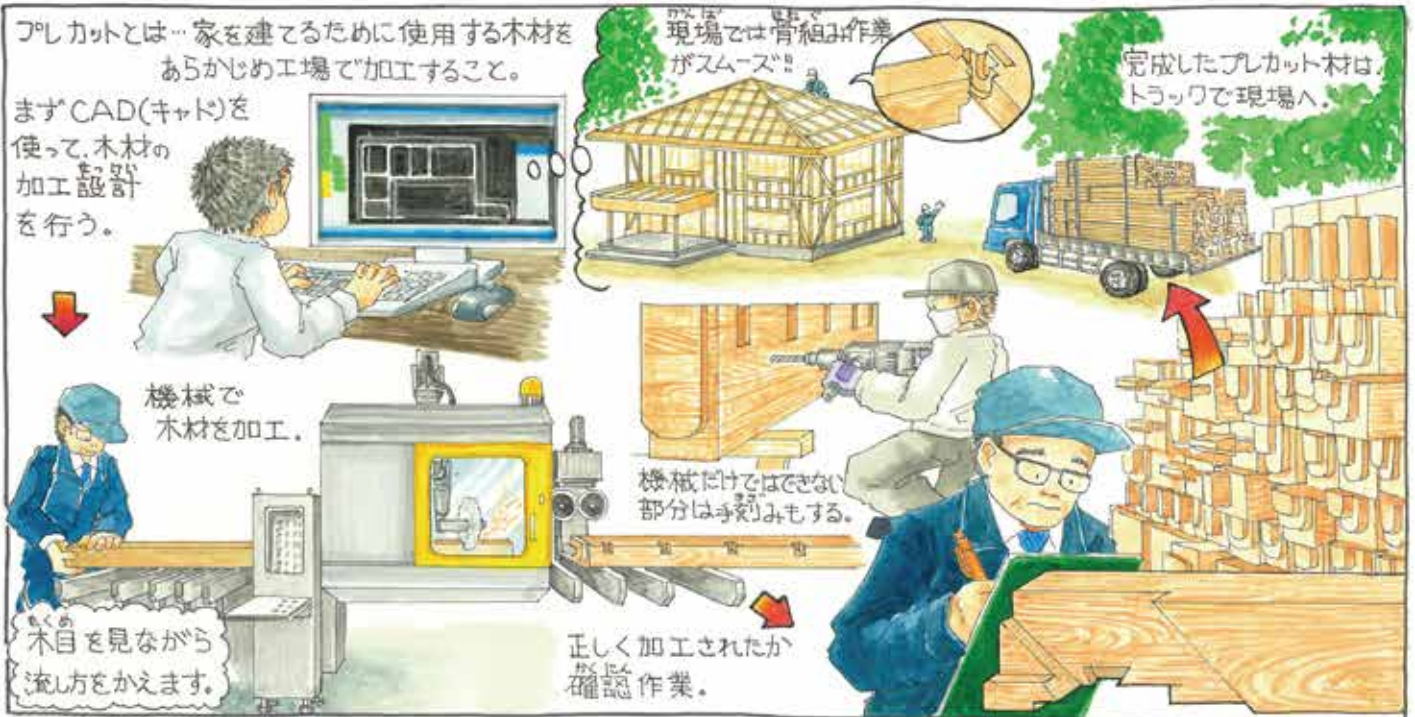
ひとと木

ひととき

— 人と木をつなぐ仕事 —

プレカット

家を建てるために使用する木材を
あらかじめ工場で加工する。



ひとと木

ひととき

— 人と木をつなぐ仕事 —

工務店

新しく家を建てたり、リフォームや
修繕、定期点検を行う。

北海道メモ

北海道の人工林面積の半分以上を占めドマツ
は、木目がまっすぐで白く、軽く柔らかいことから
加工しやすいため、家の柱や建築材・土木材
として利用されています。
カラマツと共に、北海道を代表する木材です。



ひとと木

ひととき

一人と木をつなぐ仕事

木地師

小林 一雄さん
(岐阜県恵那市)

北海道メモ

木地師が作品を作る際は、木目が美しく加工しやすいケヤキやトチノキが材としてよく使用されます。北海道ではエゾマツやトマツ、エンジュなども利用されています。



木地師とは... 木をロクロで回しながら、刃物で削って、お盆や器を作る職人。

削りの道具を自分で作る鍛冶屋でもある。

夫婦共同作業の漆塗り。5~20回塗って拭き取って、乾かしてを繰り返す。

長い年月もかけ木が作り出した木目の美しさを、最大限引き出して生活の中に取りこむ芸術家なのです!

器の大きさや仕上げの方法にあわせて、8種類ものロクロ鉋を用意。

ひとと木

ひととき

一人と木をつなぐ仕事

原木しいたけ栽培
水上 平八郎さん
(長野県駒ヶ根市)

北海道メモ

北海道では原木としてコナラやミズナラ、カンナなども利用されます。どの木も萌芽力が強いので、約20年で再び原木が収穫できます。また木の組み方は地域で様々な種類があります。



椎茸(きのこ)は木の子。だから山づくりから手がけます。

原木となるクヌギをドングリから育て、山に植え付ける。

椎茸のたねもいる「種駒」を

クヌギの萌芽力を活用して、10~20年サイクルで原木を仕立てる。究極の循環産業。

ほど木を林やハウスに置いて、湿度や温度を調整。椎茸が出やすいように手助けする。

翌年から数年間、椎茸が発生する。

原著「ほど木」に打ち込み作業。

ひとと木

— 人と木をつなぐ仕事 —

炭焼き

原 正昭さん

(和歌山県みなべ町)



紀州備長炭に代表される
高温で火持ちが良い「白炭」



火つきが良く火力が強い「黒炭」

北海道メモ

北海道では主にミスナラを
原木とし、炭窯の中で消火
して炭化させる「黒炭」が
作られています。

かた 堅くて火持ち抜群の紀州備長炭。原木となるウバメガシを。「萌芽更新」と太い幹のみを選んで切る「択伐」で、15年サイクルで仕立てる。

かま 炭窯に原木をすき間なく詰める。

1000℃で真っ赤に焼けた炭を窯出しし、炭をかき捨てしうか消火します。

まがま 曲がった木もまっすぐになおして詰める。

かま 窯に火を入れると、原木の乾燥(口吹き)と蒸し焼き(炭化)とガス(精錬)の燃焼(精錬)と数日かかりきりに。

どの幹を残すか見極めが重要!

元の木の1/3まで焼き締められた備長炭。

打って澄んだ金属音がひびく。

ひとと木

— 人と木をつなぐ仕事 —

紙漉き

ロギール・アウテンボーグさん
(高知県梶原町)

ひとくちメモ

私たちが日常ノートや本で利用しているのは、木材パルプや古紙などを原料に作られた「洋紙」です。これに対し、コウゾやミツマタ等を原料に作成した紙は「和紙」と呼ばれカビや虫食いから守れば千年も保つこともできます。近年はインテリアやアート等様々な場面で活用が広がっています。また、日本の紙幣にはミツマタが使用されています。



和紙の原料となるコウゾ、ミツマタ、ワコは全て自分で栽培。

光にかざすと繊維が見える

おぼ 粘りを出すトロロアオイも。

原木を蒸して皮を剥ぐ。

きれいな川の水と日光で漂白して

1枚ずつ天日で乾燥

すけた 簀笥で均等に漉く。

水が澄む冬の作業

叩いてほぐす。